

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会 (1 / 2 枚目)

発行者名	東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教出版（小学社会）
<p>1 内容 (1)児童の発達段階に対する配慮がある。 (2)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1)中学年の身近な地域の学習では調べ、つなげ、絵地図にまとめる活動を丁寧に展開している。しかし、絵地図のつくり方については手順などが示されていない。 (2)第5学年情報化社会では、情報ネットワークの事例は医療を中心に展開され、情報活用の取り扱いに工夫がされている。また、第6学年室町・江戸の文化については、資料も多く分かりやすい。 (3) (4)第6学年国旗国歌については1ページを使って歴史や意義等を説明している。 各単元では、導入で児童の会話から始まっているので、児童が課題をとらえやすい。 (4) 「学習の進め方」「まなび方コーナー」などの工夫がされている。 第6学年歴史の各大単元の想像図・絵巻・屏風絵など多様な活動が期待できる。</p>	<p>(1)中学年の身近な地域の学習では、観察、絵地図、平面図とまとめる活動を丁寧に展開している。 (2) (3)第5学年情報化社会では、情報ネットワークの事例を医療、教育、防災など多く取り上げて選択できるようにしてある。 インターネットなど情報活用の取り扱いに工夫がされている。 第5学年世界とつながる工業の中で、地球儀の使い方を分かりやすく示している。 (3)第6学年国旗国歌については、1ページを使って歴史や君が代の意味等を説明している。 (4) 「教科書の使い方」「学びの手引き」などの工夫がされている。 第6学年歴史の各大単元の想像図・絵巻・屏風絵などは、多様な活動が期待できる。</p>	<p>(1)中学年の身近な地域の学習は、観察、絵地図、平面図とまとめる活動を丁寧な展開している。 (2)第5学年情報化社会では、情報ネットワークの扱いが明確でない。 (3) (4)第6学年、国旗国歌の意味の説明はあるが、内容は少ない、全般に内容が豊富すぎて、資料過多である。 発展学習は、小学生レベルとしては内容が高度である。 (4) 「学びナビ」や学習のヒントなどが工夫されている。 第6学年歴史の各大単元の想像図・絵巻・屏風絵など多様な活動が期待できる。</p>	<p>(1)中学年の身近な地域の学習では、16ページにわたって町たんけんから絵地図、平面図とまとめる活動を丁寧に展開している。 (2) (3)第5学年情報化社会では、情報ネットワークの事例を医療、防災で取り上げて選択できるようにしてある。 情報化社会への対応についても工夫がされている。 第6学年室町文化については、簡略で取り扱いが少ない。 (3)第6学年国旗国歌の意味の説明はあるが、内容的には少ない。 (4)「学び方調べ方コーナー」など工夫され、児童の意欲・関心を高める配慮がされている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1)内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) 第5学年世界の主な国と我が国の位置、領土について分かりやすく展開されている。 地球儀の取り扱いは簡略である。 第6学年の歴史単元の配列で、年代が戻ってしまうようなところが改善されている。 (2)「学び方コーナー」では、発達段階に応じた学習活動が例示しておりよい。 (3) 補助教材や資料が充実している。 第5学年の国土の学習では、地形や気候の特色ある地域を1事例ずつ取り扱い、他地域事例を補助教材として活用が図れるようにしている。</p>	<p>(1)第5学年の国土の学習では、気候の特色で沖縄と北海道、地形の特色で低地と高地を、見開き左右ページで対比して記述し、選択学習ではあるが違いを理解しやすいようにしている。また、第5学年世界の主な国と我が国の位置、領土について分かりやすく展開されており、地球儀の取り扱いも理解しやすい。 (2)簡潔、明瞭な記述である。 (3)「広げ深める」のページで発展的に活用が図れる資料が充実している。</p>	<p>(1)第5学年世界の主な国と我が国の位置、領土について、やや簡略され十分に取扱われていない。 (2)本文の記述量に比べて資料の説明が多く、資料集のようになっている。説明的で、知識習得型の展開になりやすい。 (3)第5学年食糧生産では補助教材として稲作以外の取り扱いが少ない。</p>	<p>(1)第5学年世界の主な国と我が国の位置は示してあるが、領土については北方領土のほかは十分に明示されていない。 (2)第5学年国土の環境を守るでは、琵琶湖の事例が大きく取り扱われているのが特徴である。 (3) 「大きくジャンプ」のコーナーで発展的な学習に取り組める。 まとめの「わたしのノート」例は具体的に示しすぎて、児童の自発的なノート作りをしにくくする可能性がある。</p>
<p>3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現である。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1)本文のレイアウトがよく工夫され読みやすい。 (2) 写真・グラフの資料、イラストなど資料が大きく明瞭で見やすく、数量も十分である。児童にとって分かりやすい。 年表は出来事や人物が分かりやすく記述されており、使いやすい。</p>	<p>(1)簡潔、明瞭な記述である。レイアウトの関係で本文の行が広がったり短くなったりすることがあるのは読みにくい。 (2) 写真・グラフの資料、イラストなど明瞭で見やすい。 第6学年の歴史では、ページ右側に年表があるのは使いやすい。また通史年表は、見開きで項目わけ、色や記号で分けられ見やすく使いやすい。</p>	<p>(1)小単元の学習問題が、児童の話し言葉で書かれていて、親しみやすい。 (2)写真・グラフの資料、イラストなど明瞭で見やすい。</p>	<p>(1)産業学習事例地でのインタビュー者の顔が写真ではなくイラストなので、リアリティーに欠ける。 (2)写真・グラフの資料、イラストなどは大きくて分かりやすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮している。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3)印刷・装丁に対して配慮している。 (4)地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1)見開きの目次ページの写真は、学習の見通しが分かり効果的である。巻末の索引も使いやすい。 (2) 各単元で「つかむ、調べる、まとめる」の展開が明示されている。また、「まなび方コーナー」が工夫され、例示資料も豊富で学習方法の理解習得に活用できる。 「ことば」の用語解説で、学習内容の理解が深まる配慮がなされている。 (3)問題はなく、適切である。 (4) 事例地は、日本各地に広がっている。 第3学年で、「世田谷ポロ市」を扱っている。</p>	<p>(1)選択学習や発展学習のページが分かるように工夫してある。 (2)「学びのてびき」が工夫され、つかむ・調べる・まとめるの学習が効果的に展開できるよう配慮され、学び方を学ぶ学習の充実が図れる。 (3)第5学年の上巻が産業学習まで含み、下巻の厚さとの違いが大きい。 (4) 第5学年工業で大田区、情報で調布市の事例がある。 第6学年暮らしの中の政治で、本市の租税教室を事例として扱っている。</p>	<p>(1)巻頭で各学年の学習のねらいが示されている。 (2) 「ひろげる・ふかめる」のコーナーでまとめや発展的な学習ができるように工夫されている。 調べたり考えたりしたことをノートに書く、「わたしのノート」作りが特徴である。 (3)第5学年と第6学年は上下分冊ではないので、分厚く重さがあり、取扱いに難がある。 (4)神奈川県や西日本の事例地を扱っている。</p>	<p>(1)目次に、選択教材や発展教材が児童にもわかるように示されている。 (2)調べる、読み取る、表現するなどの「学び方、調べ方コーナー」が工夫され、問題解決の学習が効果的に展開できるよう配慮されている。 (3)装丁等は特に問題はない。 (4)事例地が西日本中心となっている。</p>
<p>5 総合所見 (1)教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1)問題解決的な学習が十分に展開できる構成であり、「学び方コーナー」では学習方法のヒントや例示も多く、効果的な社会科学習が期待できる。また、資料の量や質も十分に適切であり、レイアウトなども洗練されている。 (2) 写真・資料などは大きく分かりやすい。 A・B版化でさらに工夫・改善されているところもあり、使いやすい。</p>	<p>(1) 「学びのてびき」のほか、「伝え合う・確かめて考える・広げて深める」の学習活動例も豊富で、考える力・表現する力の育成に活用できる。 問題解決的な学習が十分に展開できる構成である。また、資料の量や質も適切であり、キャラクターも効果的に扱われている。 (2) 学習の事例地は近県である。 内容・構成・装丁の面で、資料等が多く、活用の工夫が必要である。 (2) 学習の事例地は近県で、地域性の面で親しみやすい。 現行の教科書と比べると、レイアウトの編集面でさらに工夫がほしいが、写真・資料などは大きく分かりやすい。 レイアウトの編集面で工夫がほしいが、写真・資料などは、大きく分かりやすく使いやすい。</p>	<p>(1)「学びのひろば」等の工夫があるが、問題解決的な学習の展開がやや不足している。キャラクターが効果的に扱われている。 (2) 学習の事例地は近県である。 内容・構成・装丁の面で、資料等が多く、活用の工夫が必要である。 教科書サイズは大判化されていない。</p>	<p>(1)問題解決的な学習が展開できる構成である。また、資料の量や質も適切であり、キャラクターも効果的に扱われている。 (2)資料や写真は大きく、ゆとりのあるレイアウトであるが、本文の内容や資料の少なさが、内容・構成・分量の面で工夫が必要である。 事例地は西日本中心であり親しみはない。</p>

発行者名	日本文教出版（小学生の社会）
<p>調査の観点</p> <p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) 中学年の身近な地域の学習では、絵地図の作り方や絵地図から平面図への展開が十分でない。 (2) ・第5学年情報化社会では、情報ネットワークの事例を医療、福祉で取り上げて選択できるようにしてある。 ・情報の活用についてもインターネット討論会の学習などで取り上げている。 ・第6学年江戸の文化・学問については、簡略で取り扱いが少ない。 (3) 第6学年国旗国歌の意味について、簡単な扱いである。 (4) 小単元名を学習問題の形で示している。</p>
<p>2 構成及び分量</p> <p>(1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) ・第5学年の国土の学習が産業の学習の後に配置されており、国土の環境と生活や産業の関係についての認識が不十分のまま産業の学習になってしまう。 ・第5学年世界の主な国々の扱いが少なく、我が国の領土については明確に示されていない。また、中学年の地域学習では、学区域から市、県へと広がる展開でなく、児童の地理的認識や理解の面から問題がある。 (2) 発達段階への配慮はある。 (3) 第5学年米作りの学習の中で、インドネシアの稲作を紹介し品種改良の理解を深めるようにしている。</p>
<p>3 表記及び表現</p> <p>(1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) 写真・グラフの資料、イラストなどが小さくて分かりにくいところがある。 (2) ・紙質のためか、やや写真が不鮮明なところがある。 ・レイアウトにばらつきがあり、分かりにくいところがある。</p>
<p>4 使用上の便宜</p> <p>(1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 全体を見通す工夫はなされている。 (2) 学習問題が明確で、問題解決の学習が効果的に展開できるよう配慮されている。 (3) 装丁等は特に問題はない。 (4) 学習の事例地は、関東周辺が多い。</p>
<p>5 総合所見</p> <p>(1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) 「学び方教室」のコーナーが工夫されて問題解決的な学習が展開できる構成である。また、作業ノートのページもあり、資料を効果的に活用することができる。 (2) ・第5学年の国土学習の位置付け、中学年の単元配列など、内容、構成、分量の面で工夫が必要である。 ・教科書サイズは大判化されていない。</p>